

2020(令和2)年 4月 30日

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 ドレミの仲間
代表者・役職名 氏名 理事長 坪田 将

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ドレミの仲間 フェスティバル ～音楽を通じた地域との懸け橋～

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1989年に5名の重度障がい児の音楽を楽しみたいとの要望を受け、活動をスタートいたしました。障がいの程度を問わず活動の輪を広げていき、地域活動ディグループとして活動してきました。2012年に特定非営利活動法人の認可を受け、現在に至る。現会員数70名

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

ドレミの仲間フェスティバル～音楽を通じた地域との懸け橋～と題し、ドレミの仲間の活動の成果を利用者自身が発信するコンサートを継続するとともに、彼らが就労している就労自主製品を販売するブースを設け、コンサートから発展した地域のお祭り形式でのイベント。障がい者自身・関係者・音楽に興味のある方だけでなく、地域に障がいの者の余暇活動のみならず、生活就労様々なことを発信する場とする。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

実施せず

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

新型コロナウイルス感染防止のため。3月8日に予定されていた音楽フェスティバルは、中止といたしました。楽しみにしていたイベントが中止となり残念に思う利用者さんも多く、ぜひ、再度企画したいと考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。 参考資料あり・特になし